


特定非営利活動法人 日本免疫学会  
平成 30 年度 前期 **Tadamitsu Kishimoto International Travel Award**  
研究発表報告書

申請者氏名	山嵜大智	会員番号	0035419	
申請者の所属・職名	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 感染防御分野			
出席会議名	Cold spring harbor meeting retroviruses 2018			
発表論文タイトル	Identification of a Host RNA Binding Protein as a Novel HIV-1 Restriction Factor			

この度は、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award を賜り、誠にありがとうございました。岸本先生をはじめ、選考していただいた先生方、推薦して下さった竹内理先生に厚く御礼申し上げます。

今回、私はアメリカニューヨーク州で開催された Cold spring harbor meeting retroviruses 2018 に参加し、上記の演題で口頭発表をさせていただきました。世界中から一流のレトロウイルス研究者が集まる本学会では大変興味深い発表が多く、現在活発に研究が進められている研究分野、そしてこれから注目されると思われる研究を直接聞くことができました。本学会では、私は HIV-1 の感染を制御する新規 RNA 分解酵素の同定とその機能解析について口頭発表を行ってきました。これまで HIV-1 感染は APOBEC3G や tetherin をはじめとする宿主抗ウイルス因子によってその感染が強く抑制されることが知られていますが、HIV-1 の mRNA 発現や安定化に関与する宿主因子はほとんど明らかになっていませんでした。私の研究では HIV-1 の mRNA 発現制御に関与する宿主 RNA 結合タンパク質のスクリーニングを行い、感染を抑制する新たな遺伝子を同定しました。海外学会での初めての口頭発表で不安でしたが、質問にもなんとか答えることができ、自信につながりました。発表が終わった後も、多くの研究者に声をかけていただき、これまでにない視点でのアドバイスをいただきました。また本学会を通して海外のグループと共同研究も始まり、大変有意義な学会となりました。本学会に参加する前に、アメリカメリーランド州 Bethesda の National Institute for Health 及び Frederick の National Cancer Institute に立ち寄り、セミナー及び研究室見学をさせていただきました。アメリカの研究室を訪問することは初めての経験でしたが、NIH で行われる HIV-1 研究の質と最新鋭の実験設備、研究員のレベルの高さを実際に目の当たりにし、驚愕しました。最後になりましたが、このような貴重な機会を与えて下さった岸本忠三先生をはじめ、選考委員の先生方、ならびに推薦して下さった竹内理先生に重ねて御礼申し上げます。